

インドネシア金融政策（2019年9月）

インドネシア銀行は3会合連続、利下げを実施

2019年9月20日

0.25%ポイントの利下げを実施

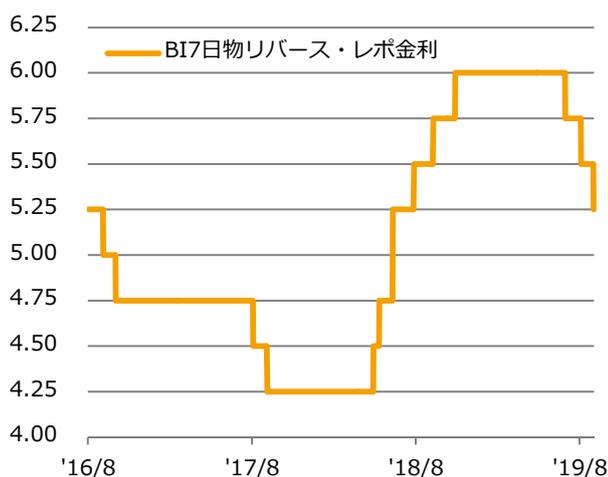
9月19日（現地）、インドネシア銀行（中央銀行）は政策金利であるBI7日物リバース・レポ金利を0.25%ポイント引き下げ、5.25%にしました。また、預金ファシリティ金利を4.50%に、貸出ファシリティ金利を6.00%にそれぞれ0.25%ポイント引き下げました。今回、市場では0.25%ポイントの利下げを予想していました。

インドネシア銀行は、世界経済の不透明感が強まっていることや資源価格が軟調に推移し輸出が落ち込みを見せるなかで、経済の下支えを狙い利下げを実施しました。インフレ率が引き続き低水準で推移するとの見通しや主要国が追加の金融刺激策を実施しており、新興国にとって利下げを実施しやすい環境になっていることも、インドネシア銀行による利下げの決定を後押しした模様です。また、インドネシア銀行は成長促進のための措置の一環として不動産と自動車向けローンの規制も緩和しています。今後に関しても、利下げ以外の手段も組み合わせて、緩和的な政策を続けていくと見られています。

ジョコ大統領は首都移転やインフラ投資などの改革の実施を計画しており、国内経済の活性化を図っています。今後、ジョコ政権が腰を据えてさらなる経済成長戦略や構造改革を推し進めていけるかが注目されます。また、米国が利下げを実施するなど主要先進国・地域で金融緩和期待が高まっていることは、相対的に高金利なインドネシアの通貨を下支えすると考えています。

政策金利の推移

(%) (2016年8月19日～2019年9月19日)



(出所) ブルームバーグ

インフレ率の推移

(%) (2014年8月～2019年8月)



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。